

医療の未来を切り拓く・ヘルスケアイノベーション

「免疫でがんを治す」「免疫力こそがんを治す力」 「免疫治療はがん治療法の第一選択になるだろう」

2018年にノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑先生が提言

なぜ、がんになるのか！

がん細胞は、健康な人の体で毎日数百個～数千個、発生すると言われていますが、通常は免疫細胞によって排除されています。しかし免疫細胞の免疫力低下が原因となり、生き残ったがん細胞が成長することでがんと診断されます。

免疫力は加齢とともに衰えます。

人間の体は、40兆個とも言われる膨大な細胞によって形作られています。40兆個の細胞たちは、それぞれ大切な役割を担っています。又人の体の細胞は4年でほとんど新しいものに入れ替わりますが、加齢とともに衰え「免疫老化」が進んでしまいます…各種病気にかかりやすい。

毎日の「水素ガス吸引生活」で、
「活性化した細胞」に入れ替わります！
「免疫力」が上がる仕組みです！
「水素ガス吸引システム」だけのスゴ技です！

※ 体細胞でも例外的に入れ替えをしない組織もあります。それは、心筋と神経細胞です。心臓を動かす心筋細胞は生まれてから太く大きくなることはあっても数が増えることはありません。

脳や脊髄を中心として全身に信号を送る神経細胞が入れ替わったら、記憶が維持できなくなり、おおごとになります。心臓と脳の細胞は生涯ずっとかわらないのです。